



みみよい

「あーやー」

相談員 阿部 智美



もう10月！先日、「年賀状販売始めました」と郵便の方が知らせてくれました。秋がだんだん短く感じるようになってきましたが、一番過ぎしやすい時期を乐しまたいと思えます♪

今年是指定管理者の最終の年とい

うのもあり、今までを振り返るいい機会になっていきます。全国的にみても「聴覚障害者情報提供施設」の職員は、一人がさまざまな業務を兼任していることがほとんどです。私自身も「相談員」としての採用なので、相談業務を一番に考えながら、通訳派遣や講座なども経験をさせていただいています。

相談業務については、堺市には8人の相談員がおられるので、センターでは企画づくりをメインとしてやっています。その一つが「みみサロン」。聴覚障害者にとって「旬な」話題をみつけ、魅力のある内容になるよう、私自身もアンテナをはるようになりました。

音声メインになりやすいこの社会で、聴覚障害者は聞こえる人に比べると、得られる情報量がかなり少なくなります。その

中で正しく情報を取捨選択できればいいのですが、少ない情報の中で判断や決定することは難しいケースがたくさんあります。しかし、情報を得ることは人間として「生きる力」にもなってきました。多くの聴覚障害者の方がたくさんを知り、世界がどんどん広がっていくことを願いながら、今日も「今度のみみサロンは何にしようかな」と考えを巡らせています。まだ参加したことのない方は、一度覗きに来てくださいな♪聞こえる人の場合は参加条件がありますので、興味がありましたらお問合せください。

保護者学習会を開催しました



去る8月20日、「聞こえない・聞こえにくい子どもへの保護者向け学習会」を開催しました。

この学習会では「ありのままの育児を楽しんでいただく」ということを大きなモットーとしています。そのためには、お子さんの障害からくる特性や困難さを、きちんと学習されることが大事になってきます。昨年実施の第一弾では、聞こえない臨床心理士をお呼びしました。第二弾の今回は、当センターが開所時から難聴児相談などでお世話になっている河本 環先生にお越しいただきました。先生は、聴覚活用や口話

で教育する時代から、長く言語訓練に携わっておられます。

聞こえないお子さんとなると、発音訓練や言葉の習得に力を入れる必要はありますが、たくさんさんの経験や感情を共有し、親子関係を築いていくことも大事ですね。

センターとしての力不足もあり、学習会の存在がまだ浸透していませんが、少しずつ広められるように努めていきたいと思っています。難聴児の個別相談も受けていますのでお気軽にお問合せください。

「難聴」あるある 異常事態発生編

朝食中、急に「ばばばば」と音が聞こえてくる。難聴妻が窓際まで行って空を不安そうに見上げる。

健聴夫「急にどないしたん？」

難聴妻「すごいヘリコプターが飛んでんねん。見えへんけど。どうしたんかな？何か事件かな？」

健聴夫「ん？洗濯機の脱水の音やんか。いつもと同じ音やで。」

夫は、妻が何を言っているのだろうか？と不思議そうな顔。

きまぐれで変な耳にいつも振り回される…難聴妻であった。



「みみサロン」を開催しました



9月の「みみサロン」は、聞こえない人・聞こえる人で構成された団体「o.i.o.i」さんをお呼びしました。o.i.o.i.さんは、「聞こえない人と聞こえる人の間にある心のバリア（壁）をぶち壊したい」という理念のもと、関西を中心に活動されています。メンバーさんは本業を持ちながらの活動ですが、こちらの要望もたくさん聞いてくださり、講演とパフォーマンスで2時間楽しませてくれました♪

講演では、o.i.o.i.と手話との出会いで自分が明るくなったり、生活が充実した。自分が変わった」と、全身を使って表現されていました。会場からの質問が想像していた以上に多く、手話を大事にしている活動に対しての関心の高さがうかがえました。

o.i.o.i.さんが独自で考え開発した手話体操も、みんな楽しんでました♪ ラジオ体操の動きに合わせて、その動きに似ている手話を表現しながら体操をするものです。身体だけではなく、同時に頭も動かせるのでいいですね♪

今後も「手話」を楽しめる企画を考えていきたいと思えます。また、



「みみサロン」の妹分、文字情報で交流を楽しむ「もじサロン」もありますので、そちらもぜひご参加くださいいね。

※もじサロンにご参加いただけるのは、聴覚障害者のみです。手帳の有無は問いません。



「聞こえの相談会」を開催しました

8月27日、



ユニバーサル・サウンドデザイン株式会社のご協力をいただき、「卓上型会話支援システム コミュニーン」の紹介と体験会を開催しました。

「コミュニケーション」は、マイクとスピーカーを使った会話支援のシステム。かわいい卵型のスピーカーから出る音は明瞭度が高く、高音域もはっきりと聞こえます。今年6月、厚生労働省の来訪者窓口などにも設置されています。

「聞こえの相談会」では、臨床サポートグループのグループ長として、「聞こえのバリアフリー」を実現させるために取り組んでおられる宮田 充さんが、

開発経緯と特徴をお話しくださいました。宮田さんご自身も片耳難聴とのこととで、コミュニケーションを使用して負担が軽くなったとの体験談も。

後半は3つのブースを用意し、参加者全員に試していただきました。難聴の状況は個人差が大きく、「よく聞こえる！」と言う方もあれば、「耳にぴったりにくくつけたら聞こえる」という方、「あまり変わらないなあ」という方などさまざま。個人で買うには高額で、よほど効果がなければ二の足を踏みますが、それでも「役所の窓口であれば、ぜひ使いたい」とのお声は共通でした。

難聴者自身が努力して「聞き取る」のではなく、環境を整えることで参加や双方向のコミュニケーションを実現する、その方法のひとつとしてこうした機器が普及すればと思います。「聞こえの相談会」では、今後もこうした機器の紹介や、難聴の方の体験談、医療の講演会を企画しています。一緒に学び、そして「聞こえにくい」ということの理解を社会に広めていきたいと思います。

を架橋センターに配架しています。



「12/3・4 障害者週間フェスティバル」

機器紹介しますよ～

12月3日から9日は障害者週間。プラザでも12月3日(土)と4日(日)に「障害者週間フェスティバル」を開催、講演会や講座、ユニバーサル駅伝など、さまざまな企画をご用意しています。

センターでは毎年、堺市ろうあ者福祉協会と堺手話サークル連絡会のご協力をいただいている「手話教室」と、職員で趣向を凝らした「口話ゲーム」を実施しています。いつも、会場のビデオライブラリーがいっぱいになるほどご参加いただき、楽しく手話を学んだり、口話の読み取りで笑い合ったりしています。

今年はここに「機器展示コーナー」を作ります。センター所有の補聴機器をお試しいただけるコーナーです。また、Jumpers 株式会社のご協力をいただき、同社の「グループトーク」も展示します。グループトークは、ネックレス状の機器にマイクとイヤホンジャックを内蔵。最大15名の双方向の会話を助けるワイヤレストークシステムです。・・・と言われてもよくわからないですよね。当日はお試しができますので、ぜひ実際に使ってみてください！みなさまのお越しをお待ちしております。



写真左下「デジタル集音器」 中央「声のものさし」
右下「ワイヤレススピーカー(テレビにつながます)」

開所5年目 事業も拡大しています

月曜日は休館日！ 相談や貸出はできません！

センターが開所して早や5年。みなさんからのご意見・ご要望をいただきながら、事業の改善にも取り組んできました。センター紹介のパンフレットには載せていない事業もあるので、改めてご紹介します。

1. ビデオライブラリー

聴覚障害者情報提供施設の骨格でもある事業です。字幕付DVDの貸出は、本数や期間を改善し、現在は6本・2週間となっています。

また、「目で見える広報」、「目で見える注目情報」をセンターのスタジオで撮影・制作。定期的に動画をアップしています。センターのホームページやYouTubeでご覧いただけますよ。

2. 手話通訳者・要約筆記者派遣事業

「必要な日が決まったらすぐ依頼！」にご協力をお願いしています。ただ、「急な派遣はできない」との誤解もある様子。急病での受診など、急な場合は当日の依頼→派遣も可能です。

派遣申込に対応できるのは、月曜日～土曜日の9時から17時30分です。17時30分を過ぎてから「明日の9時に派遣して！」と連絡をいただいても、職員は不在なので対応できません。病院や学校など、予定が決まっている時は、できるだけ早くご依頼くださいね。

3. 相談事業

個別の相談(生活・メンタル・教育・就労など)の他、グループで楽しみながら情報を得たり、交流したりできる行事を企画しています。

①みみサロン ②もしサロン ③聞こえの相談会 ④保護者学習会 ⑤補聴器相談

4. 手話奉仕員・通訳者、要約筆記者養成講座＋育成研修

手話ができる人、通訳ができる人の養成をしています。市の登録試験に合格した方を対象に、対人援助や通訳技術のスキルアップのための研修も実施しています。

手話奉仕員・通訳者養成講座

手話講習会 新たな仲間を迎えて

手話講習会の後期募集があり、全部で12名の方々が新たに手話学習の仲間入りです。残念ながら、一番受講生の少ないクラスには申し込みがなく、少し寂しいままですが、聞こえない方々の話し相手が少しでも増えるのはうれしいですね。願わくば、手話をやめずにずっと仲間でいていただけるようにと職員一同望んでいます。

要約筆記者養成講座

次はノートテイク実習！

チームワークの実技があっという間に終わりました。なかなかいいプレーでがんばっていましたよ！

次からはノートテイクの実習に入ります。ドキドキしますが、近くで要約筆記を見られることに慣れてくださいね。

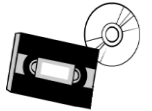
センターの行事

- 10月15日(土) 14:00~16:00
「保護者学習会」 ※要申込
- 10月22日(土) 10:30~11:30
「絵本の読み聞かせ」
- 11月11日(金) 13:30~16:30
「補聴器相談」 ※予約制
- 11月19日(土) 13:30~16:30
「みみサロン」 ※上靴持参！
～手話の秋を楽しみましょう～
- 11月24日(木) 14:00~16:00
「聞こえの相談会」 ※要申込
～人工内耳装用者の体験談～
- 12月3日(土)～12月4日(日)
「障害者週間フェスティバル」
※手話教室・機器展示など

毎週木曜日 12:30~12:45

ミニ手話講習会「手話っぴい」

おすすめビデオライブラリー



「花咲舞が黙ってない(全1話～11話)」

東京第一銀行の臨店班の花崎舞と相馬健は、支店で起きる問題を解決すべく奔走していた。ある日、臨店を命じられた日本橋支店では、投資信託をめぐるトラブルから、ある顧客が銀行を訴えようとしていた。

メガバンクを舞台に、痛快ヒロイン・花咲舞が大活躍する、池井戸潤原作の大ヒットドラマです！！

「魔女の宅急便」

13歳になったら独り立ちするために、1年間、見知らぬ町で修業するという「魔女のおきて」。黒猫のジジとお父さんからもらったラジオをお供に、海辺の町で空飛ぶ宅急便屋を始めた魔女のキキだったが…。

魔女の少女の自立と成長を描く、スタジオジブリ制作の感動アニメーションです！！

頑張っています 手話通訳・要約筆記登録者

実	要約筆記者実技研修 PC	9/10	「全体投影」
施	手引き通訳者研修	9/14	「盲ろう者との交流」
済	登録者合同研修	10/8	「障害者差別解消法と合理的配慮」
	手話通訳者実技研修 (AB)	9/10・(CD)	9/24
	要約筆記者実技研修手書き	11/25	「利用者ニーズに合わせた書き分け」
	要約筆記者実技研修	12/17	「要約筆記の技術と理念」

ご注意ください！

センターの業務日は
火曜日～土曜日 9時～17時30分です
月曜日は急な派遣対応のみです！

事業概況

		手話通訳		要約筆記		ライブラリー	
		個人	講演	個人	講演	利用者数	貸出数
8月	派遣数	254件	8件	13件	5件	17人	75本
	派遣人数	262人	15人	33人	18人	新規登録者：1人	
9月	派遣数	268件	21件	23件	2件	25人	66本
	派遣人数	280人	39人	47人	8人	新規登録者：3人	

ご協力
ありがとう
ございました

